

## ケイセンビジネス公務員カレッジ 2019年度シラバス

科目名	憲法	担当教員	佐藤 伸弘
対象学科・学年 コース	公務員上級学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	15週
授業の形式	講義、演習	単位数・時間	4単位・60時間
授業の概要	日本の最高法規である日本国憲法を制定趣旨・制定過程まで遡り、①自由の基礎法、②制限規範、③最高法規という特色及び国民の権利について定めた「人権」、国の政治の仕組みを定めた「統治」を正確に指導します。		
到達目標	「人権」では公務員試験の出題実績を踏まえ、判例の骨子(キーワード)を的確に指導します。「統治」では条文テストを通じ、確実な知識の定着を重視します。		
使用教材等	公務員Vテキスト憲法(TAC出版) 公務員過去問精選問題集 出たDATA問 憲法(七賢出版) 公務員試験六法2020(三省堂)		
授業計画			
第1週	憲法全体像の把握(プリントを使用)		
第2週	・人権(前文) ・過去問演習、条文テスト		
第3週	・人権(人権の主体) ・過去問演習、条文テスト		
第4週	・人権(平等権) ・過去問演習、条文テスト		
第5週	・人権(精神的自由①) ・過去問演習、条文テスト		
第6週	・人権(精神的自由②) ・過去問演習、条文テスト		
第7週	・人権(経済的自由①) ・過去問演習、条文テスト		
第8週	・人権(経済的自由②) ・過去問演習、条文テスト		
第9週	・人権(人身の自由) ・過去問演習、条文テスト		
第10週	・人権(社会権) ・過去問演習、条文テスト		
第11週	・人権(参政権) ・過去問演習、条文テスト		
第12週	・人権総まとめ ・単元テスト		
第13週	・統治(国会①) ・過去問演習、条文テスト		
第14週	・統治(国会②) ・過去問演習、条文テスト		
第15週	・統治(内閣) ・過去問演習、条文テスト		
第16週			
成績評価 の方法	期末テスト60% 単元(条文)テスト30% 授業態度10%により総合的に評価		
学生へのメッ セージ	テキスト、公務員試験六法を準備ください。		

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2019年度シラバス

科目名	民法 I	担当教員	佐藤 伸弘
対象学科・学年 コース	公務員上級学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	15週
授業の形式	講義、演習	単位数・時間	6単位・90時間
授業の概要	民法は、①総則、②物権、③債権、④親族、⑤相続で構成されています。難解な条文及び判例をできるだけ分かりやすく、日常生活を常に意識し私法の一般法として習得を図ります。		
到達目標	非常に膨大な条文から過去の公務員試験の出題実績を踏まえ、効率的に学習指導いたします。また、定期的な単元テスト実施により重要知識の集約と事務処理能力の向上を図ります。		
使用教材等	公務員Vテキスト民法(上)(TAC出版) 公務員過去問精選問題集 出たDATA問 民法(七賢出版) 公務員試験六法2020(三省堂)		
授業計画			
第1週	・民法全体像の把握(プリントを使用)		
第2週	・民法全体像の把握(プリントを使用)		
第3週	・総則(権利の主体・客体) ・過去問演習、単元テスト		
第4週	・総則(法人) ・過去問演習、単元テスト		
第5週	・総則(意思表示①) ・過去問演習、単元テスト		
第6週	・総則(意思表示②) ・過去問演習、単元テスト		
第7週	・総則(代理) ・過去問演習、単元テスト		
第8週	・総則(時効) ・過去問演習、単元テスト		
第9週	・物権総論(所有権) ・過去問演習、単元テスト		
第10週	・物権総論(占有権) ・過去問演習、単元テスト		
第11週	・物権総論(用益物権) ・過去問演習、単元テスト		
第12週	・担保物権(抵当権) ・過去問演習、単元テスト		
第13週	・担保物権(留置権) ・過去問演習、単元テスト		
第14週	・担保物権(先取特権) ・過去問演習、単元テスト		
第15週	・担保物権(質権) ・過去問演習、単元テスト		
第16週			
成績評価 の方法	期末テスト60% 単元(条文)テスト30% 授業態度10%により総合的に評価		
学生へのメッ セージ	テキスト、公務員試験六法を準備ください。		

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2019年度シラバス

科目名	行政法 I	担当教員	佐藤 伸弘
対象学科・学年 コース	公務員上級学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	15週
授業の形式	講義、演習	単位数・時間	4単位・60時間
授業の概要	行政法は、①行政組織法、②行政作用法、③行政救済法に分類されます。国(地方公共団体)と国民(住民)との関係について、講学上の概念、条文、判例のポイント及び横断的な学習を図ります。		
到達目標	公務員試験の出題実績を踏まえ、判例の骨子(キーワード)、条文及び講学上の概念を的確に指導します。また、単元テストを通じ、確実な知識の定着を図ります。		
使用教材等	公務員Vテキスト行政法(TAC出版) 出たDATA問 行政法(七賢出版) 公務員試験六法2020(三省堂)		
授業計画			
第1週	・行政法全体像の把握(プリントを使用) ・行政法総論		
第2週	・行政法全体像の把握(プリントを使用) ・行政法総論		
第3週	・行政法作用(行政行為①) ・過去問演習、単元テスト		
第4週	・行政法作用(行政行為②) ・過去問演習、単元テスト		
第5週	・行政法作用(行政上の強制措置) ・過去問演習、単元テスト		
第6週	・行政法作用(行政手続法①) ・過去問演習、単元テスト		
第7週	・行政法作用(行政手続法②) ・過去問演習、単元テスト		
第8週	・行政法作用(情報公開法) ・過去問演習、単元テスト		
第9週	・行政救済(損失補償) ・過去問演習、単元テスト		
第10週	・行政救済(国家賠償法①) ・過去問演習、単元テスト		
第11週	・行政救済(国家賠償法②) ・過去問演習、単元テスト		
第12週	・行政救済(行政不服審査法①) ・過去問演習、単元テスト		
第13週	・行政救済(行政不服審査法②) ・過去問演習、単元テスト		
第14週	・行政救済(行政事件訴訟法①) ・過去問演習、単元テスト		
第15週	・行政救済(行政事件訴訟法②) ・過去問演習、単元テスト		
第16週			
成績評価 の方法	期末テスト60% 単元(条文)テスト30% 授業態度10%により総合的に評価		
学生へのメッ セージ	テキスト、公務員試験六法を準備ください。		

## ケイセンビジネス公務員カレッジ 2019年度シラバス

科目名	時事研究 I	担当教員	櫻田和久
対象学科・学年 コース	公務員上級学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	15週
授業の形式	講義・問題演習	単位数・時間	2単位・30時間
授業の概要	時事問題に触れながら、問題点を考え学習します。マスメディアを通じ、社会に関心を持ち社会に貢献できる人間の育成を目指します。特に、世界史や日本史に関する知識を重視する。		
到達目標	公務員として必要な時事の知識を世界史的な視点から理解する。公務員大卒程度試験の合格を目指す。		
使用教材等	公務員試験 プリント		
授業計画			
第1週	古代 オリエント 四大文明の特徴とオリエントの統一の過程を理解する。		
第2週	古代ギリシア 古代ギリシャの文明が民主政治などローマ帝国を通じてその後のヨーロッパ文明の基礎となることを理解する。		
第3週	古代ローマ キリスト教 古代ローマが地中海世界を統一しその後のヨーロッパ文明の基礎となることを理解する。キリスト教の発展過程を理解する。		
第4週	中世のヨーロッパ ゲルマン民族の国家が成立し西ヨーロッパ世界が形成されていく過程を理解する。ローマ＝カトリック教会の発展過程を理解する。		
第5週	ルネサンス・宗教改革・大航海時代 ルネサンスのヒューマニズムを理解する。宗教改革の過程を理解し、		
第6週	絶対主義 中央集権国家の成立を理解する。ヨーロッパ各国の関係を宗教的対立と絡めて理解する。三十年戦争後に主権国家が成立し国際社会ができていく過程を理解する。		
第7週	市民革命と産業革命 イギリス革命・アメリカの独立・フランス革命により自由な市民社会が成立する過程を理解する。イギリス産業革命が機械による生産が大量生産を可能にしたことを理解する。		
第8週	ウィーン体制と七月革命・二月革命 ウィーン体制の保守反動の性質を理解し、ナポレオンによって広まった自由と平等の精神が二月革命と三月革命につながる過程を理解する。		
第9週	イタリア・ドイツの統一 国民国家の成立が遅れていたイタリア・ドイツで国家の統一が達成される過程を理解する。		
第10週	ロシアの改革とアメリカの発展 ロシアの上からの近代化がすすめられることを理解する。アメリカの西部開拓と、南北戦争による国家分裂危機を克服し工業力の発展を理解する。		
第11週	帝国主義 帝国主義を資本主義の発達から理解する。帝国主義に達した欧米諸国がアジアやアフリカ諸国を植民地化していく過程を理解する。		
第12週	第一次世界大戦 帝国主義対立の結果として勃発する第一次世界大戦について理解する。戦後のヴェルサイユ体制やワシントン体制について理解する。		
第13週	世界恐慌とファシズム 世界恐慌による資本主義諸国の経済混乱を理解する。ソ連の社会主義経済の建設過程を理解する。ファシズムの成立と、イタリア・ドイツ・日本の動きを理解する。		
第14週	第二次世界大戦 ファシズム諸国の侵略行為を理解する。第二次世界大戦の過程を理解する。		
第15週	冷戦と第三世界の成立 冷戦の成立過程と欧米諸国の動向を理解する。アジア・アフリカ諸国の独立と中国とインドを中心とする第三世界の成立過程を理解する。		
第16週			
成績評価の方法	期末テスト80%・授業態度10%・出席状況10%により100点満点で評価する。		
学生へのメッセージ	公務員試験の一般教養試験の実力をつけよう。		

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2019年度シラバス

科目名	経済原論 I	担当教員	櫻田和久
対象学科・学年 コース	公務員上級学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	15週
授業の形式	講義・問題演習	単位数・時間	6単位・90時間
授業の概要	前期はミクロ経済学を中心に講義を進めていく。ミクロ経済の基本を前期のうちに理解することを目標に授業に臨む。公務員試験の問題に対応できるように、実践的な問題演習をする		
到達目標	ミクロ経済学の基本的な理論を理解する。公務員試験の問題を解いていく。問題を解くための数学的な基本知識を習得する。公務員大卒程度試験の合格を目指す。		
使用教材等	『スーパー過去問ゼミ ミクロ経済学』(実務教育出版)		
授業計画			
第1週	経済原論の概要を説明する。公務員試験の問題への対応を説明する。 テーマ1 最適消費点と無差別曲線 無差別曲線の特徴と特殊なものについて理解する。		
第2週	テーマ2 代替効果と所得効果 テーマ3 上級財と下級財 代替効果と所得効果の違いについて理解する。上級財と下級財とギッフェン財を区別できるよう		
第3週	テーマ4 消費者理論の計算問題(1) テーマ5 消費者理論の計算問題(2) 効用関数を使いこなせるようにする。効用最大時の労働時間と異時点間の最適消費の処理を理		
第4週	テーマ6 需要の価格弾力性 テーマ7 消費者理論の展開(期待効用) 価格弾力性の定義式と需要と供給の場合の違いを理解する。危険回避者と危険愛好者の区別		
第5週	テーマ8 利潤最大化と費用関数 テーマ9 損益分岐点と操業停止点 利潤が最大になる 価格と限界費用と限界収入の関係について理解する。損益分岐点と操業停止点をAC・AVC・		
第6週	テーマ10 長期均衡、課税と費用曲線 テーマ11 コブ=ダグラス型生産関数 P=MC=ACを理解し、税と費用の関係を理解する。企業の生産活動を生産関数で理解する。		
第7週	テーマ12 クールノーの点、差別価格 テーマ13 複占、寡占と独占的競争 MR=MCの意味 を理解し、計算の処理手順を理解する。クールノー均衡とシュタッケルベルク均衡の処理を理解		
第8週	テーマ14 ゲーム理論 第1回試験 ナッシュの均衡の処理手順とパレート最適と囚人の ジレンマを理解する。マクシ・ミン戦略を理解する。		
第9週	テーマ15 市場の安定 ワルラス・マーシャル・くもの巢の安定理論について理解する。		
第10週	テーマ16 余剰分析1(完全競争市場、従量税と従価税) 完全競争市場の余剰について理 解する。従量税と従価税の付加の時の余剰について理解する。		
第11週	テーマ17 余剰分析2(不完全競争市場、二重価格) 不完全競争市場の余剰について理解 する。二重価格の余剰について理解する。		
第12週	テーマ18 余剰分析3(貿易) 貿易のない世界と自由貿易の比較をして余剰を理解する。関 税と輸入制限の場合の余剰を理解する。		
第13週	テーマ19 パレート最適 パレート最適の意味とエッジワースボックスを使ったパレート最適を 理解する。		
第14週	テーマ20 外部効果、公共財 テーマ21 平均費用逓減産業 市場の失敗や外部効果を余 剰の観点から理解する。公共財の性質を理解する。平均費用逓減産業の価格決定方式を理解		
第15週	テーマ22 情報の不確実性 モラルハザード、逆選択とレモンの原理、ローレンツ曲線を理解する。		
第16週			
成績評価 の方法	期末テスト80%・授業態度10%・出席状況10%により100点満点で評価する。		
学生へのメッ セージ	難解な経済学を克服して、公務員試験に合格しましょう。		

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2019年度シラバス

科目名	憲法	担当教員	佐藤 伸弘
対象学科・学年 コース	公務員上級学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	15週
授業の形式	講義、演習	単位数・時間	4単位・60時間
授業の概要	日本の最高法規である日本国憲法を制定趣旨・制定過程まで遡り、①自由の基礎法、②制限規範、③最高法規という特色及び国民の権利について定めた「人権」、国の政治の仕組みを定めた「統治」を正確に指導します。		
到達目標	「人権」では公務員試験の出題実績を踏まえ、判例の骨子(キーワード)を的確に指導します。「統治」では条文テストを通じ、確実な知識の定着を重視します。		
使用教材等	公務員Vテキスト憲法(TAC出版) 公務員過去問精選問題集 出たDATA問 憲法(七賢出版) 公務員試験六法2020(三省堂)		
授業計画			
第1週	憲法全体像の把握(プリントを使用)		
第2週	・人権(前文) ・過去問演習、条文テスト		
第3週	・人権(人権の主体) ・過去問演習、条文テスト		
第4週	・人権(平等権) ・過去問演習、条文テスト		
第5週	・人権(精神的自由①) ・過去問演習、条文テスト		
第6週	・人権(精神的自由②) ・過去問演習、条文テスト		
第7週	・人権(経済的自由①) ・過去問演習、条文テスト		
第8週	・人権(経済的自由②) ・過去問演習、条文テスト		
第9週	・人権(人身の自由) ・過去問演習、条文テスト		
第10週	・人権(社会権) ・過去問演習、条文テスト		
第11週	・人権(参政権) ・過去問演習、条文テスト		
第12週	・人権総まとめ ・単元テスト		
第13週	・統治(国会①) ・過去問演習、条文テスト		
第14週	・統治(国会②) ・過去問演習、条文テスト		
第15週	・統治(内閣) ・過去問演習、条文テスト		
第16週			
成績評価 の方法	期末テスト60% 単元(条文)テスト30% 授業態度10%により総合的に評価		
学生へのメッ セージ	テキスト、公務員試験六法を準備ください。		

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2019年度シラバス

科目名	数的推理 I	担当教員	熊田 直哉
対象学科・学年 コース	公務員上級学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	15週
授業の形式	講義、演習	単位数・時間	4単位・60時間
授業の概要	来年の公務員試験に向けて、数的推理の基礎を中心に自ら進んで学習する習慣を身につける。また、数的推理を通して、基本的な計算能力を身につける。		
到達目標	数的推理の解法を網羅する。 翌年の公務員試験で目標点数に達することが出来ることを目標とする。		
使用教材等	上・中級公務員標準数的推理(改訂版) 実務教育出版		
授業計画			
第1週	ガイダンス:学習の進め方を確認する。 第1章方程式(講義と演習):方程式の立式や解法を身につける。		
第2週	第1章方程式(講義と演習):方程式の立式や解法を身につける。		
第3週	第2章不等式(講義と演習):不等式の立式や解法を身につける。		
第4週	第2章不等式(講義と演習):不等式の立式や解法を身につける。		
第5週	第3章整数問題(講義と演習):整数の基礎的知識や基本的な問題の解法を身につける。		
第6週	第3.4章整数問題(講義と演習):整数に関する問題演習を通して、様々な解法を身につける。		
第7週	第5.6章整数問題(講義と演習):整数に関する問題演習を通して、様々な解法を身につける。		
第8週	第1章～第6章の内容を小テストで復習し、知識や解法を確認する。		
第9週	第7章比・割合(講義と演習):比や割合の基礎的知識や問題の解法を身につける。		
第10週	第7章比・割合(講義と演習):濃度や仕事算の基礎的知識や問題の解法を身につける。		
第11週	第8章速さ・距離・時間(講義と演習):8章の基本的な内容の問題を中心に行い、解法を身につける。		
第12週	第8章速さ・距離・時間(講義と演習):8章の通過算や旅人算などの問題を中心に行い、解法を身につける。		
第13週	第9章座標・グラフ(講義と演習):ダイアグラムを中心に問題を解き、図の書き方や解くポイントを理解する。		
第14週	第7章～第9章の内容を小テストで復習し、知識や解法を確認する。		
第15週	前期の内容を総復習するために、様々な問題を解く。過去問などの難易度の高い問題にも対応できるようにする。		
第16週			
成績評価の方法	期末テスト60%、小テスト30%、授業参加度10%により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ	毎日の積み重ねが重要です。復習を重視して、頑張りましょう。		

## ケイセンビジネス公務員カレッジ 2019年度シラバス

科目名	判断推理 I	担当教員	熊田 直哉
対象学科・学年 コース	公務員上級学科	学期・区分	前期・必修
		授業週数	15週
授業の形式	講義、演習	単位数・時間	2単位・30時間
授業の概要	来年の公務員試験に向けて、判断推理の基礎を中心に自ら進んで学習する習慣を身につける。また、判断推理を通して、柔軟な考え方や発想力を身につける。		
到達目標	判断推理の解法を網羅する。 翌年の公務員試験で目標点数に達することが出来ることを目標とする。		
使用教材等	上・中級公務員標準判断推理(改訂版) 実務教育出版		
授業計画			
第1週	ガイダンス:学習の進め方を確認する。 第1章論理(講義と演習) :論理では表を利用したまとめ方や解法を身につける。		
第2週	第1章論理(講義と演習) :演習問題を通じて論理の解法を身につける。		
第3週	第2章集合(講義と演習):集合基礎的な問題の解法を身につける。		
第4週	第2章集合(講義と演習):集合と論理の複合問題の解法を演習問題を通して身につける。		
第5週	第3章対応関係(講義と演習):対応関係での表のまとめ方や基本的な問題の解法を身につける。		
第6週	第3章対応関係(講義と演習):難易度の高い問題を通して、様々な解法を身につける。		
第7週	第4章暗号(講義と演習):暗号に関する問題を通して、基本的な解法を身につける。		
第8週	第1章～第4章の内容を小テストで復習し、知識や解法を確認する。		
第9週	第5章順序関係(講義と演習):数量較差を含む問題の解法を身につける。また、表を利用したまとめ方も合わせて身につける。		
第10週	第5章順序関係(講義と演習):数量較差を含まない問題の解法を身につける。また、表を利用したまとめ方も合わせて身につける。		
第11週	第6章嘘つき問題(講義と演習):基本的な問題を中心に行い、解法を身につける。		
第12週	第6章嘘つき問題(講義と演習):特殊な解法が必要な問題を中心に行い、解法を身につける。		
第13週	第7章試合と勝敗(講義と演習):リーグ戦の問題を中心に解き、表の書き方や解くポイントを理解する。		
第14週	第5章～第7章の内容を小テストで復習し、知識や解法を確認する。		
第15週	前期の内容を総復習するために、様々な問題を解く。過去問などの難易度の高い問題にも対応できるようにする。		
第16週			
成績評価の方法	期末テスト60%、小テスト30%、授業参加度10%により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ	毎日の積み重ねが重要です。復習を重視して、頑張りましょう。		